

●自然体験⑩

スノーシューハイキング



概要

スノーシューをはいて、雪に覆われた森や野原を歩き、木々の冬芽、動物の足跡、鳥の姿や鳴き声など、多くの命を身近で感じることができます

人数

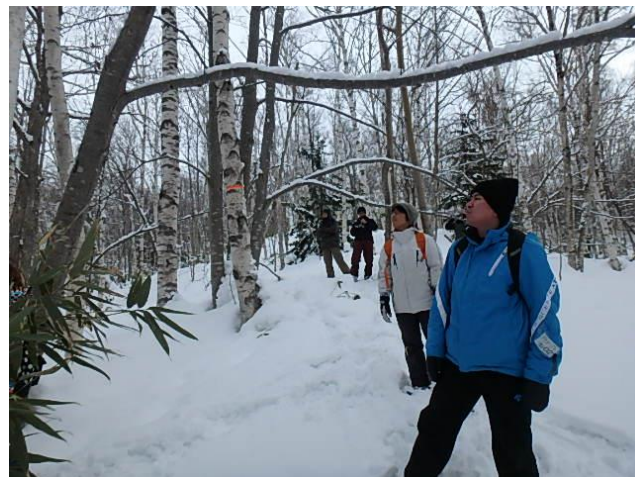
・240 名程度

対象

・小学生～

実施期間

・冬
(12/23～3/31))



活動場所

・詳細は別紙 2 エリアマップ参照

指導のねらい

・積雪時しか発見できない、冬ならではの魅力を体感する
※なぜスノーシューを実施するのか、団体ごとにねらいを設定してみましょう

活動のながれおよび留意点

【事前準備】

- ① スノーシューハイキング中に行うプログラムを考える
※ 山の家ホームページのプログラムを参照
- ② スノーシューの使い方を調べる
※ 別紙 1 参照

【当日】

- ① 服装と装備を確認する
- ② 物品の貸出(山の家職員立ち合い)
- ③ スノーシューハイキング実施
- ④ 物品の返却(山の家職員立ち合い)
- ⑤ 振り返り

準備物品

【山の家で貸出可能なもの】

・スノーシュー、無線機

【団体で準備するもの】

・服装(防寒インナー上下、長めの靴下、フリース等)、スキーウェア上下、耳まで隠れる帽子、ネックウォーマー、冬用手袋、汗拭きタオル、換えの手袋、水筒、救急用品

備考

スノーシュー（道具の準備・装着・留意点）

道具の準備

① 乾燥室からスノーシューをとってくる



② 活動場所へ移動する

床が傷つくため、館内での装着はしない



装着

① スノーシューの左右を確認する

・かかとのバンドの金具が外側にくるようにする



② つま先、かかとのバンドを緩め、つま先を入れる



③ つま先のバンドの両端を引いて締める



④ かかとのバンドの金具を引いて締める



⑤ バンドを踏まないように、結んだり、挟めたりする



留意点

・使用後の道具は、雪を落とし、裏面を合わせて、指定の場所に返してください



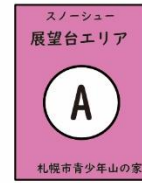
・破損があった場合は、事務室または近くにいる職員までお声がけください

スノーシュー（滝野の森エリア）



スノーシュー（展望台エリア）

カラーテープエリア内または周辺で自由にご活動ください。



案内看板



スノーシュー（山の家周辺エリア）

カラーテエリア内または周辺で自由に活動ください。



案内看板

